

# わたぼうし



〒174-8502 東京都板橋区小豆沢1-6-8 小豆沢(あずさわ)病院 ☎03-3968-7993(直通)

最近話題となっている「認知症声かけ訓練」を実践しました。看護学生だけでなく、医学生や介護学生、高校生など幅広い分野の学生15人が参加しました。超高齢社会のなか、85歳以上の高齢者のうち3人に1人が認知症、介護老人保健施設さつき苑では、認知症ケアのチームが、地域の中でどのように生活を見守るかを、退院・退所後も見据えて他職種で取り組んでいます。

## ◎家庭内でみられる認知症

「ごはん食べてないんだよ」

「5000円札がない！お札が1枚もない！盗られたのかしら？お小遣いあげようと思ったのになあ」



あれ？目の前には、食べ終わったお茶碗があるのに。なんて声をかけよう。。

看護学生の対応

「一緒にお茶菓子食べよ」「今アルバイトしてるからお小遣いは大丈夫だよ」など、おばあちゃんが忘れてしまった物事から関心を逸らそうとしていました。

## ◎施設に迷い込んだ地域の人(※施設でのサービス利用なし)

「買い物にでかけたのに、なんでこんな所にいるのかしら。」



看護学生の対応

住所の分かる物を出してもらうようお願いしていました。住所が分かった後は、「家族への連絡」や「タクシーで一緒に行きましょう」などの声をかける学生もいました。

point!!

\* スタッフが持ちものから見つけるのではなく、ご本人に出してもらおうことが大切です。

## ◎入所されているのに帰宅願望の強い認知症患者

「デイサービスで来たんだ、終わったから帰るのになんで出られないんだ！」  
「昨日約束した友人が、午後に来るんだから早く家に帰らなきゃいけない！」



サービスを利用している事は認識しているけれども、「帰る」の一点張りで出口を探し歩いています。

看護学生の対応

「お茶を飲みながら少し休みませんか」や  
「今日は点検中でエレベーターは動かないみたいですよ」と声をかける学生もいました。

point!!

- \* 患者さんの気持ちを、一旦落ち着かせたり気持ちを紛らわせる事が大切です。ただし、動きを止めようとして、無理には制止しない。
- \* 患者さんに声をかける時は、視界に入るように心掛ける。

## ◎コンビニでみかけた地域の人



「どうされましたか」と聞かれても私は特に困ってないのになあ

お札を出すと、また小銭だけ溜まるわ。

看護学生の対応

同じ生活用品(せっけんなど)を大量にかごに入れてました。

同じ生活用品をみて「使い切るのは大変ですよ」とそのまま伝える学生もいました。またレジの所では、小銭を数える様子を見守るなどしました。

point!!

- \* 買い物毎に(小銭が数えられず)お札を出しては、細かい小銭だけが溜まってしまう場合があります。
- \* コンビニに認知症への理解を説明し、後日返品など相談することも大切。本人の行動を否定しないことが大事。

今回は、「認知症の人」を疾病としてだけではなく、「その人」の気持ち・尊厳を考える取り組みを行いました。声かけ訓練は、4つのシチュエーションで実施しました。

**認知症は、個性の1つとして捉えられたらいいですね。**

あずさわ病院 **土曜講座** を紹介します!

血圧測定



採血の実践



学校での授業、テスト、実習の予習復習にも役立つ看護実践講座です。テーマに合わせた国家試験の過去問にチャレンジする事もあります。講師は現場の看護師や他職種の職員なので勉強方法や実習のアドバイスにもってくれます。また、大学、短大、専門学校とあらゆる学校の学生が参加するので、情報交換や交流も楽しむことができますよ☆

-2018年度実施講座-

- ① 4/21(土) ~~フィジカルアセスメントの基礎と測定方法~~
- ② 7/21(土) ~~点滴滴下調整とミキシングの実践~~
- ③ 9/17(月) ~~認知症について学ぼう~~
- ④ 12/15(土) 認知症サポーター養成講座
- ⑤ 1/19(土) 看護師ができるリハの実践
- ⑥ 2/16(土) 採血を練習しよう

点滴調整



次回は **認知症サポーター養成講座**



21C2020402

# 奨学生を募集しています!!

## 奨学生チーム ゆきわり草



小豆沢病院の奨学生制度はお金だけの関係ではなく、毎月奨学金を受けている学生が同じ日に集まり学校での悩みや今やっていることなどを報告したり、医療の情勢を学んだりしています。奨学生になる時期や学校はバラバラですが将来同じ病院で働く仲間として学生時代からの関わりを大切にしています。

## 奨学金説明会 随時実施中

事前にお問い合わせください

<応募資格>  
 ・看護師・保健師養成機関在学者または入学決定者。  
 ・養成機関卒業後当院に就職する意志があり、奨学生生活に参加できる者。  
 <給付金額>  
 月額/5万円 返済なし  
 東京都、日本学生支援機構など併用可



全てのお申込、お問合せは小豆沢病院学生室(横島・辻)まで

直通TEL: 03-3968-7993 E-mail: kangakusei@kenbun.or.jp

携帯TEL: 090-2406-4771



小豆沢病院学生室は看護学生の応援をする事で、将来一人でも多くの看護師が誕生する事を願っています。そのために看護体験や土曜講座など様々な企画を行ない、通信を中心にして参加を呼びかけています。また、それ以外にこちらから病院及び関連施設におけるボランティアのご協力をお願いする事もあります。皆さんの個人情報はそのための為に活用しています。お申し出があった時には通信の停止、名簿からの削除を速やかに行ないます。